

## 第58回優秀畜産技術者表彰受賞者業績概要

(敬称略)

赤尾友雪	<p><b>山梨県畜産酪農技術センター 養豚科 主任研究員</b>          山梨県畜産酪農技術センターにおいて、長く豚の育種改良等に従事し、山梨県の系統豚「フジザクラ DB」の作出に大きく貢献した。また、これを種豚として活用している県産銘柄豚肉「甲州富士桜ポーク」の生産マニュアルの作成や生産組合員への飼養管理に関する指導を行い、県を代表するブランド豚肉として確立する礎を築いた。</p>
家木 一	<p><b>愛媛県農林水産研究所畜産研究センター 生産技術室 主任研究員</b>          愛媛県入庁後から乳牛の飼養栄養に係る試験研究に従事し、未利用資源であったケールジュースの搾汁残さをサイレージに調製する飼料化技術を開発した。本成果は、産業廃棄物のケールジュース粕を有効活用するもので、ケールジュース製造企業は飼料化と供給部門を設立し、現在も酪農家等への飼料供給を行っている。          本技術開発は、酪農経営における飼料自給率の向上と経営の安定化、また地域の資源循環体制に大きく貢献した。</p>
大曲秀明	<p><b>佐賀県畜産試験場 中小家畜部長</b>          豚の系統維持、繁殖、肥育等幅広く従事し、特にガラス化保存胚による系統豚の長期保存や種豚導入への利用等の成果を上げ、国内の養豚が家畜伝染病のリスクに直面する中で新たな技術的可能性を示した。また豚肉における脂肪交雑向上のための飼料技術ガイドラインを作成し、技術普及に貢献した。</p>
鹿島聖志	<p><b>北海道立総合研究機構 農業研究本部 企画調整部 主査</b>          黒毛和種の育種研究を一貫して担当し、交配シミュレーションやゲノム育種価システム等、生産者が使いやすいレベルまで掘り下げた成果を多数示した。これらは道内牛群の改良に大きく貢献し、来る全国和牛能力共進会北海道大会に向けた取り組みにも、基盤となる技術として活用されている。</p>
関屋万里生	<p><b>秋田県畜産試験場 主任研究員</b>          黒毛和種の研究に従事し、ビタミン C 添加による高品質牛肉生産技術や稲 WCS 給与による肥育技術等を開発したほか、秋田県の歴代最高種雄牛「義平福」の造成に貢献した。秋田県庁勤務時には、肉用牛の増頭や育種改良施策の企画・立案で中心的な役割を果たすなど、同県の肉用牛振興に大きく貢献した。</p>
椿 由江	<p><b>群馬県畜産試験場</b>          群馬県の家畜衛生及び肉牛飼養管理研究・黒毛和種改良指導業務に長年従事し、近年ではゲノミック評価を活用した 24 カ月齢未満の短期肥育を実証した。その成果は、全共に向けた県出品牛の改良選抜に生かされている。また、黒毛和種地方審査員資格を有し、同県産和牛能力向上の中心的な役割を担っている。</p>
仲澤慶紀	<p><b>神奈川県畜産技術センター 普及指導課長</b>          遺伝資源の広域利用や長期利用のための、豚胚の非外科移植用カテーテルの開発や超急速ガラス化保存方法による子豚生産に成功し、人工授精の利用効果を高める技術開発、DNA マーカー育種に関する研究で成果を上げた。また、神奈川県内産牛肉ブランドの誕生、地域限定牛乳の商品化等により同県内の畜産振興に大きく寄与した。</p>
福馬敬紘	<p><b>広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 飼養技術研究部 副部長</b>          イネ WCS 及び飼料米について一連の研究に取り組み、成果を上げるとともに、研究成果の社会実装にも大きく貢献した。主な業績として、飼料価値の高い極短穂品種イネ、低温期のサイレージ調製に対応した乳酸菌製剤、発酵 TMR の 1 日 1 回給与体系を確立しており、国産飼料の利用に多くの進歩をもたらした。</p>
山口昇一郎	<p><b>福岡県農林業総合試験場 畜産部 研究員</b>          高糖分高消化性 WCS 用イネの乳牛への給与技術について検討を行い、最大給与量や収穫ステージの違い及び繁殖機能に及ぼす影響について明らかにし、福岡県の WCS 用イネの普及及び利用拡大に貢献した。また、性選別精液の人工授精技術や乳牛の繁殖機能向上について多くの知見を明らかにした。</p>
山崎邦隆	<p><b>長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門 大家畜研究室 主任研究員</b>          牛受精卵の安定確保のための効率的な採卵プログラムの開発を行うとともに、血液生化学検査を活用した受精卵の採卵成績の高度安定化及び受胎率向上技術の開発を行うなど、生産団体と一体となった研究により、地域の受精卵移植技術の向上に大いに貢献した。</p>

※所属及び役職は、審査・選考時のものとなっております。